

PLUS ファニチャーカンパニー



おしゃれな職場環境を5つの要素で生み出す

オフィスデザイン 構築マニュアル



IGOCOCHI
making

目次

はじめに	2ページ
第1章：コンセプト編	3ページ
【事例紹介】ネットイヤーグループ株式会社様	
第2章：レイアウト編	5ページ
【事例紹介】クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社様	
第3章：マテリアル編	7ページ
【事例紹介】株式会社EPファーマライン様	
第4章：ライティング編	9ページ
【事例紹介】株式会社科学情報システムズ様	
第5章：雰囲気左右する小物編	11ページ
【事例紹介】プラス株式会社ファニチャーカンパニー	



IGOCOCHI
making

※ 無断転載、再配布、編集を禁止します。

近年、内装にこだわったおしゃれなオフィスが増えてきました。一時期はこうしたオフィスはクリエイティブ業界やIT関連業界の専売特許といった向きもありましたが、最近ではそれ以外の業界でも、移転やリニューアルをきっかけにこだわりのオフィスデザインを実現している企業は少なくありません。

こうしたおしゃれなオフィスは、ただ見た目がいいというだけでなく、対外的なブランディング効果があることが分かっています。自社を訪れてくれた取引先や株主など、外部のステークホルダーにポジティブな印象を残すことができれば、その後の業務にも良い影響があるでしょう。

またそれ以外に、オフィスデザインにこだわることで、従業員のモチベーションをアップさせたり、採用活動の際に優秀な人材を集めやすくなるなど、人材活用の面でも効果があることが指摘されています。細部にまでこだわったおしゃれなオフィスを作ることは、もはや企業の経営にも関わる重大事と言っても過言ではないのです。

この資料では、そんなおしゃれなオフィスを実現するうえで知っておきたいことを、事例とともに5つのポイントにまとめました。どれもこだわりのオフィスを実現する上ではとても大切なポイントです。ぜひ、参考にしてみてください。





空間には統一したコンセプトを

オフィスをおしゃれに見せる上でまず大切なのは、空間全体に統一したコンセプトをもたせることです。デスクやチェア、収納家具など、ひとつひとつのインテリアがどんなにおしゃれであっても、一貫したコンセプトがなければ、ちぐはぐした印象を与えてしまうでしょう。

おしゃれなオフィスを実現するうえでは、必ずしも高価なブランドのインテリアを導入する必要はありません。それよりも、ひとつひとつのインテリアがオフィスのコンセプトに沿っていて、空間全体でバランスが取れていることのほうがずっと大切なのです。

コンセプトの決め方にはさまざまなものが考えられます。

おしゃれな見た目を優先するのであれば「植物を多数配置した南国リゾートのような空間」「ビンテージ家具を取り入れたシャビーな空間」などのように、どのような雰囲気を実現したいかをそのままコンセプトとして設定する方法があります。こうすることで導入するデスクやチェアなどのインテリアのほか、壁紙や造作など内装も自ずと決まっていくでしょう。

また、他には「社員がリラックスして働ける遊び心のある空間」「企業メッセージを対外的に発信できるオフィス」などのように、オフィスに求める機能をコンセプトとして設定する方法もあります。この場合は「自社が考えるリラックス空間とはどんなものか」「どうすれば企業メッセージをお

しゃれに見せられるか」などのように、コンセプトをデザインに落とし込んでいく作業が発生しますので、見た目と機能を両立させたオフィスを実現させることができるでしょう。

... コンセプトをまとめるポイント

- ・大切なのは、空間全体に統一したコンセプトをもたせること
- ・空間全体のバランスを重視する
- ・見た目重視なら、実現したい雰囲気をコンセプトに
- ・オフィスに求める機能をコンセプトとして設定する方法もある



【事例紹介】ネットイヤーグループ株式会社様

デジタルマーケティング戦略の構築を手がけるネットイヤーグループ株式会社様が、オフィス移転の際に掲げたデザインコンセプトは、会社に掲げるビジョンであった「変わる。変える。Change myself. Change the world.」を、インテリアで表現することでした。同社では発想の柔軟性やチャレンジ精神を重視しており、こうした社風が来訪者にも社員にも伝わるよう、オフィスをデザインしました。

そのコンセプトが特に表れているのが、同社を訪れるすべての人が通ることになるエントランスです。ビジョンを壁面に示し、さらに同社のチャレンジ精神を表すようなパワフルでビビッドなカラーで統一。まさに同社のビジョンを象徴するオフィスといえるでしょう。

! 事例データ

社名: ネットイヤーグループ株式会社様

オフィス面積: 約2,400m²

入居者数: 約490名

内容: オフィス移転

※本事例公開時の情報です。



同社が大切にしているビジョンを壁面に表示



明るくオープンな印象を与えるエントランス



使い勝手も「おしゃれな」オフィスに

いくら内装のデザインが良くても、ただデスクとチェアが整然と並ぶだけの空間では、魅力的なオフィスに見せることは難しいでしょう。せっかく見た目にこだわるのであれば、その使い勝手も「おしゃれな」オフィスでありたいものです。

一昔前まではデスクとチェアを並べただけの無機質なオフィスが主流でしたが、最近では自社製品のショールームを兼ねたり、社員が多目的に使えるラウンジがあったりと、執務以外の機能をもたせたオフィスも少なくありません。また、オフィスの一部をフリーアドレスにして、その日の気分で自由に座る場所を選べるようにしたり、集中して作業したい時に使える集中ブースを備えたりと、社員の使い勝手を重視したオフィスも一般的なものになってきています。

ただデスクとチェアだけが並べられたオフィスよりも、レイアウトにいい意味での遊びをもたせ、柔軟な働き方ができるオフィスのほうが、社員が気持ちよく業務に集中できるのは言うまでもないでしょう。

いつも同じデスクで同じように仕事をするだけではマンネリ化してしまい、新しいアイデアやイノベーションは生まれません。おしゃれなオフィスを実現するうえでは、ただ見た目だけでなく、理想とする社員の働き方をイメージし、それに合わせたレイアウトを計画することも重要なポイントなのです。

レイアウト計画のポイント

- ・フリーアドレス制の導入も視野に入れる
- ・使い勝手の良さは業務効率の向上につながる
- ・レイアウトにいい意味での遊びを持たせる
- ・理想とする社員の働き方をイメージする
- ・見た目だけでなく使い勝手も「おしゃれな」オフィスに



【事例紹介】クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社様

ドーナツのリーディングブランドであるクリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社様では、オフィス移転に際して「OPEN THE BOX!」というコンセプトを設定。買ってきたドーナツのボックスを開けるときのようなワクワク感を演出する、楽しいオフィス空間を実現しました。

例えば、来訪者の通路には同社の主力商品である「オリジナル・グレーズド」ができていくまでの工程をグラフィックシートで表現。8メートルの壁面いっぱい広がる掲示は、ドーナツを通して同社に親しみを持ってもらう効果もあります。

また、社内には吊り下げサインを設置し、まるで店舗のような空間を設置。ちょっとした打ち合わせや試食会の際も、消費者の目線を忘れないという同社の意気込みが感じられます。

そのほか、打ち合わせからリフレッシュまで多目的に使えるドーナツ型のフリースペースを置くなど、随所に遊び心が感じられるオフィスになっています。



「オリジナル・グレーズド」の製造工程をグラフィカルに表現



まるで店舗のような空間で、いつでも消費者目線を忘れない

！ 事例データ

社名：クリスピー・クリーム・ドーナツ・ジャパン株式会社様

オフィス面積：254m²

入居者数：42名

内容：オフィス移転

※本事例公開時の情報です。

視覚効果の高い要素

オフィスの内装を考える上では、壁や床のイメージも欠かせない要素の一つです。特にこれらは空間全体に占める割合が大きいため、視覚的な効果が高いという特徴があります。壁材や床材を張り替える場合は、色や模様こだわることによってオフィスの印象を大きく左右することができるでしょう。

壁や床の色合いや模様が人に与える印象にはさまざまなものがあります。例えば、黒や白、グレーなどのモノトーンカラーは知的で洗練された印象をあたえるため、クールなオフィスを目指しているならぜひ検討したい色合いです。その反面、冷たい印象を与え、人を緊張させる色でもあるので、あたたかみのあるオフィスを実現したい場合は不向きであることに注意する必要があります。

逆に、人を安心させるようなあたたかみのあるオフィスを目指している場合は、緑などのアースカラーや、木質感のある床を取り入れてみるというでしょう。

また、壁材や床材には数多くの種類があり、コンクリートのようなテクスチャやアンティークなレンガ調のものなど、さまざまな風合いを持った壁紙やクッションフロアなどがあります。本物のフローリングやタイルなどが予算の関係で導入しにくい場合は、こういった内装材の導入も検討してみるといいでしょう。

壁や床の選定のポイント

- ・オフィスの印象を大きく左右する効果がある
- ・導入するインテリアとイメージを合わせて選ぶ
- ・空間に占める面積が大きいため、視覚効果が高い
- ・色合いは実現したいオフィスのコンセプトに合わせて選ぶ
- ・フローリングやタイルなど、さまざまな風合いを持った壁材や床材も活用する



【事例紹介】株式会社EPファーマライン様

医薬・医療・医療機器・ヘルスケアに特化したコールセンター事業をおこなっている株式会社EPファーマライン様では、同社のマークに使用している4つの色（オレンジ、グリーン、ブルー、イエロー）とグラフィックをベースとしてオフィスデザインを行いました。

オフィスに入ってまず目を引くのが、中央に配置されたスーパーバイザー席です。オペレーター席全体を見渡すことのできる円形状のレイアウトはもちろん、天井にオレンジを配色することで存在感を高め、求心力のある空間としました。また、オペレーションルームには、暖色系で柄物の壁紙を使うことで、活気とあたたかみのある空間に仕上がっています。

このほかにも、クライアントごとの専用オペレーションルームは、部屋ごとに「テーマカラー」を設定することで、直感的に分かりやすく迷わないデザインにするなど、色と模様をうまく使い分けているのが同社のオフィスデザインの特徴といえるでしょう。

！ 事例データ

社名：株式会社 EPファーマライン様

オフィス面積：793.3m²

入居者数：177名

内容：増床

※本事例公開時の情報です。



オペレーターを見守るスーパーバイザー席



柄のある壁紙で、暖かみと活気のある空間に



照明を変えることで印象は大きく変わる

壁や床を変更するのは大掛かりな工事になるため、オフィスの移転やリニューアル以外で導入するのはちょっと難しいと感じている人も多いかもしれません。そんな場合は、照明だけでも変更してみてもいいでしょうか。エントランスやミーティングスペースの照度を落としたり、間接照明にしたり、また光の色を変えてみるだけでも印象は大きく変わります。

オフィスの照明を考える上では、見る人が受ける印象だけでなく、会議室や執務室などエリアごとにそれぞれ必要な照度を設定し、それを踏まえて計画を立てることが重要です。

例えば、エントランスはそれほど高い照度は必要ないため、企業イメージの訴求を優先するといいでしょう。部屋全体は照明を落とし、企業ロゴの周囲は照度をあげるようにすると、来客にも強い印象を残すことができるでしょう。

これに対し、執務室は作業のしやすさを優先し、疲労がたまらないような照明にする必要があります。精密さを求められる作業をしているのか、通常の事務作業をしているのかによって必要とされる照度は変わるため、

業務内容に合わせて変えるようにするといいいでしょう。

また、会議室は執務室よりは照度を落としても問題はありませんが、手元の資料を読むことができ、さらに相手の顔がはっきり見える明るさを確保する必要があります。こちらも重役会議と通常の会議では求められる明るさは異なるので、部屋を使い分けている場合は照明もそれに合わせて計画するといいいでしょう。



ライティングのポイント

- ・照明も壁や床同様、印象が大きく変わる
- ・見た目だけでなく、必要な照度を考慮して計画する
- ・エントランスは企業イメージの訴求を優先
- ・執務室は作業のしやすさを優先
- ・会議室は会議の種類に合わせて照度を設定する

【事例紹介】株式会社科学情報システムズ様

情報のプロとして、ビッグデータ解析や情報管理のソリューションを提供する株式会社科学情報システムズ様では、本社の移転に伴いエントランスデザインの再構築を行いました。

デザインを行ううえで目指したのは、同社の洗練された技術力を表現すること。「信頼性」「青」「システム」といったキーワードをモチーフに、同社の業務や企業イメージを想起させるようなエントランスを目指しました。

同社が取り扱う「情報」は形のないもの。それを表現するためのデザイン要素として使われたのが「光」です。エントランスにはブルーとホワイトのLED照明を配置。また、間接照明を取り入れることで奥行きのある、広いエントランス空間を演出しています。



間接照明を効果的に取り入れたエントランス

！ 事例データ

社名：株式会社科学情報システムズ様

オフィス面積：約1,273m²

入居者数：141名

内容：オフィス移転・新設

※本事例公開時の情報です。



アクリルバー上部にはLED照明を内蔵



オフィスの細部にまで、こだわった空間づくりを

おしゃれなオフィスを作り上げる上では、内装やレイアウトなど全体的なイメージにこだわるのも大切ですが、適宜オフィスの中に小物を配置して、細部にまで心を配るのも大切なポイントです。

オフィスの雰囲気を作る小物として、最もよく使われるのは観葉植物などのグリーンでしょう。最近ではエントランスや執務室の壁に大胆に取り入れるなど、グリーンはオフィスデザインのトレンドでもあります。無機質になりがちなオフィス空間に有機的な暖かみをもたらしてくれるだけでなく、オフィスの雰囲気を明るくし、目の疲れを癒やしたりする効果もあります。

またグリーンは写真映えするため、会社案内などのパンフレットや採用サイト、SNSなどに写真を載せる際もよりおしゃれさが引き立つというのも嬉しいメリットです。

さらに、アロマのような香りで演出をするのも、オフィスの印象をぐっと上質なものにしてくれる方法です。例えばエントランスでは訪れてくれた取引先に対するおもてなしとして、また執務室では社員がリラックスして業務に集中できるようにするなど、香りを使い分けることでさまざまな効果が期待できます。

このように、オフィスの細部にまでこだわった空間づくりを行うことで、オフィスの内装やレイアウト、壁や床、ライティングといったデザインをより一層引き立てる演出が可能になるのではないのでしょうか。

小物選びのポイント

- ・内装やレイアウトなど全体的なイメージだけでなく、細部にもこだわる
- ・こうすることで、空間全体を一層引き立てる演出が可能に
- ・グリーンは有機的な暖かみや癒やし効果がある
- ・写真映えするため、社内写真がぐっとおしゃれに
- ・エントランスや執務室にはアロマなど香りの演出を



【事例紹介】プラス株式会社ファニチャーカンパニー

社内にグリーンを取り入れるにはさまざまな場所が考えられますが、弊社プラス株式会社ファニチャーカンパニーがまずおすすめしたいのは、社員が集まるカフェスペースです。業務の合間にほっと一息つく空間にはグリーンがぴったり。パソコン操作に疲れた目を癒し、気持ちをリラックスさせてくれます。小さな鉢植えなどよりも、壁一面に配置するなど大胆に配置することをおすすめします。

また、ちょっとした打ち合わせや雑談に使えるラウンジ空間はもちろん、デスク周りにもぜひ配置してみてください。ワンポイントでも配置することで、オフィスの雰囲気を和やかに、落ち着いたものにしてくれるでしょう。



社員が集まるラウンジスペース



カフェスペースに配置することでリラックス効果も

! 事例データ

社名：プラス株式会社ファニチャーカンパニー

オフィス面積：1,152㎡

入居者数：140名

内容：オフィスリニューアル

※本事例公開時の情報です。



IGOCOCHI
making

プラス株式会社 ファニチャーカンパニー

<https://kagu.plus.co.jp/>

詳しくはWebで！

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-7 九段センタービル11階



オフィス移転のご相談承ります。
お気軽にお問い合わせください。

PLUSのオフィスを見学しませんか？
お申込み受付中！

